Panasonic



保証書付き

取扱説明書

IC レコーダー

品番 **RR-XS350**

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●ご使用前に**「安全上のご注意」（P52 ～ 55）を必ずお読みください。**
●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください。（P62）

安全上のご注意
準備
基本操作
応用操作
パソコンと使う
その他

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社
〒 571-8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

VQT4J71-1
M0612KZ1082

本機の楽しみ方

録音する

本機はリニア PCM（以降は PCM と記載）形式の録音に対応しています。PCM 録音ではデータを圧縮しないため、CD 音質にせまる高音質な録音ができます。
また、内蔵する高感度ステレオマイクによって、自然で臨場感のある録音ができます。また、ズーム録音機能を使うと、前方正面の音を強調して録音することができます。
録音シーンに応じた最適な録音設定を用意していますので、電源を入れて録音設定を選び、すぐに録音を開始することができます。

再生して聴く

・MP3 音楽ファイルの再生
・語学学習に便利なシャドーイング再生
・再生音のノイズを軽減して再生
・本機以外で録音した録音ファイルの再生に対応

パソコンと接続する

録音 / 音楽 / データファイルの移動や整理をする。

タイマーで録音する

指定した時刻にマイクから録音することができます。

付属品の確認

□単 4 形アルカリ乾電池：1 本

- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については、乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください（P52 ～ 55）

準備

基本操作

応用操作

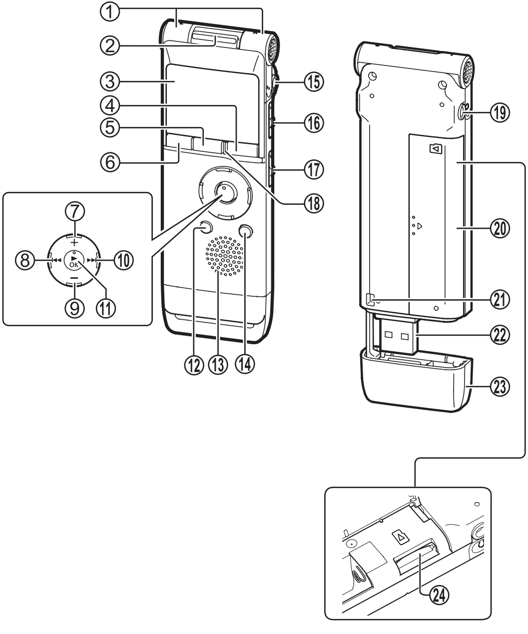
目次（続き）

「安全上のご注意」を必ずお読みください（P52 ～ 55）

パソコンと使う

その他

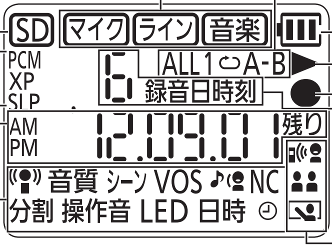
各部のなまえ



① 内蔵マイク
② ズーム / ステレオ切り替えスイッチ
③ LCD 表示部
④ 録音 ● ボタン
⑤ 停止 ■ / 戻るボタン
⑥ メニューボタン
⑦ ＋（音量）ボタン
⑧ ⏮（早戻し）ボタン
⑨ −（音量）ボタン
⑩ ⏭（早送り）ボタン
⑪ ► OK ボタン
⑫ フォルダボタン
⑬ 内蔵スピーカー
⑭ 消去 / A-B⭮ ボタン
⑮ マイク / ライン端子（ 🎤 ）
⑯ 電源 / ホールドスイッチ
⑰ マイク / ライン切り替えスイッチ
⑱ 録音ランプ（動作表示ランプ）
⑲ インサイドホン端子（ 🎧 ）
⑳ 電池 / SD カード挿入部ふた
㉑ ストラップ取り付け穴
㉒ USB 端子
㉓ USB 端子ふた
㉔ SD カード挿入部
（⑳を開けた状態）

画面表示

画面説明用です。同時に表示されることのない内容があります。



フォルダの種類（P10）

SD カード選択（P10）

録音音質表示 (P17)

各種情報表示
- 時計などが表示されます

メニュー設定項目
(P9、16 ～ 20、22、24、28、33)

繰り返し / A－Bリピート表示
(P21、23)

電池残量 (P7)

再生中表示 (P13)

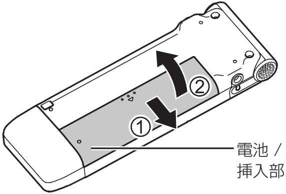
録音中表示（P12）

各種情報表示
- 録音した音声のファイル番号などが表示されます

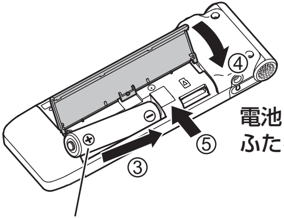
録音シーン表示 (P16)

電池を入れる

電池 / SD カード挿入部ふたを開ける（① ②）



電池 / SD カード
挿入部ふた



電池 / SD カード挿入部ふたを閉める（④ ⑤）

単4形アルカリ乾電池（1 本）
⊕ と ⊖ を確認！

- 電池は付属または市販のアルカリ乾電池をお使いください。
- 長期間使用しないときは、本機から電池を取り出しておいてください。

本機の動作中、下記の電池残量表示が表示されます。

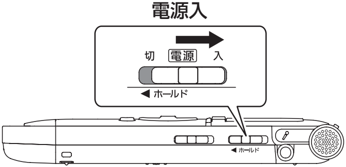


- 電池残量がなくなると“□”が点滅します。
  お早めに電池を交換してください。
- 電池が切れると、“Lo bAT”と表示されたあと、自動で電源が切れます。
- 電池の状態や使用される動作内容によっては、電池切れで電源が切れた場合でも、再び電源を入れるとしばらくお使いいただけることがあります。ただし、電池残量不足のため、動作の途中で急に電源が切れることがあります。
- ファイル消去やフォーマット（P14）、ファイル分割（P28）の実行時は電池残量が必要です。電池残量表示が“□”（点滅）のときにこれらの操作を実行すると電池切れで電源 OFF になります。
- **電池を取り外す場合は電源を切った状態で行ってください。**
  - 電源を入れたままで電池を取り出すと、データが失われることや本機の故障につながることがあります。

初めて電池を入れたときや電池交換したときは、時計の設定を行ってください。（P9）

電源を入れる / 切る

電源 / ホールドスイッチ：



電源を入れるには：

電源 / ホールドスイッチを［入］側にスライドさせると電源が入り、表示が点灯します。

電源を切るには：

停止状態で、電源 / ホールドスイッチを［切］側にスライドさせます。

オートパワーオフ：

停止状態で 30 分間経過すると自動的に電源が切れます。オートパワーオフ機能で電源が切れた場合は、電源 / ホールドスイッチを［切］側にスライドさせてから電源を入れてください。

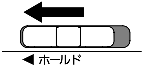
初めて電源を入れたときは、時計の設定を行ってください。（P9）

ホールド機能

ホールドにすると、ボタン操作を受け付けなくなります。

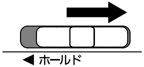
ホールド機能を使うには：

録音中や再生中に、電源 / ホールドスイッチを［ホールド］側にスライドさせます。
“On HOLd” が表示されてホールド機能が働きます。



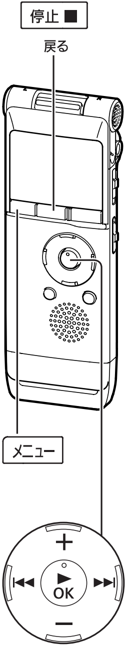
ホールド機能を解除するには：

電源 / ホールドスイッチを［ホールド］と反対側にスライドさせます。
“OFF HOLd” が表示されてホールド機能が解除されます。



- ホールド中は、電源が入った状態で操作ボタンが押されても操作を受け付けない（“On HOLd” が表示されます。）ので、録音や再生が中断するなどの誤操作防止になります。
- ホールド中に録音や再生が終了すると、自動的に電源が切れます。

時計を合わせる



時計はファイル名（P38）や録音日時情報の記録に使用しますので、正しい日時に設定しておいてください。電池を交換したときは、日時設定が必要です。

・電源を入れておく。（P8）

・お買い上げ後、初めて電源を入れた場合や電池を交換した場合は、手順 ❸ へ進んでください。

❶ ［メニュー］を押す

❷ ⏮、⏭ で“日時”を選び、［▶ OK］で決定する

❸ ＋、− で“yy”（年）を設定し、⏭ を押す



・西暦の下 2 桁に設定してください。（2012 年なら「12」）

❹ ＋、− で“MM”（月）を設定し、⏭ を押す

❺ ＋、− で“dd”（日）を設定し、⏭ を押す

・前の設定項目に戻るには、⏮ を押します。

❻ ＋、− で時刻表示方法を選び、⏭ を押す

24 時間表示は“24h”、
12 時間表示は“12h”を選択します。

・点滅している項目が、選んでいる表示方法です。

❼ ＋、− で時刻の「時」を設定し、⏭ を押す

❽ ＋、− で時刻の「分」を設定する

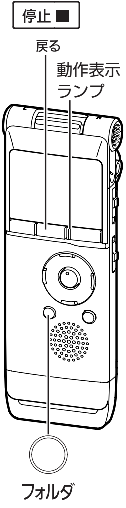
設定を変更するには、⏮、⏭ で項目を移動し、再度 ＋、− で設定してください。

❾ ［▶ OK］で決定する

・日時が設定され、時計動作を開始します。

設定画面を閉じるには [停止 ■ / 戻る] を押す。

● 時計精度は、室温で月差約± 60 秒です。
● 電池が消耗し切った状態になると、時計設定は解除されます。



ファイルとフォルダについて

ファイルとは

録音した音声データは、録音開始から停止するまでを 1 つのまとまりにして保存されます。
この保存データをファイルと呼びます。

フォルダとは

ファイルを入れておく場所です。本機には以下のフォルダがあります。

- マイク録音用の“マイク”フォルダ（P12）
- 本機に接続した他機器から録音したファイル用の“ライン”フォルダ（P31）
- 音楽用の“音楽”フォルダ（P 26）

“マイク”、“ライン”フォルダには最大 199 ファイルまで録音できます。
フォルダは内蔵メモリー内に作成されています。SD カード※（P25）を挿入した場合は、SD カードにも同様のフォルダが作成されます。

※ microSD/microSDHC カードを本書では「SD カード」と表記します。

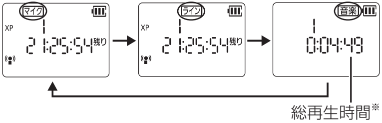
● 本機の電源を入れたあと、初めて“音楽”フォルダを選択すると、動作表示ランプが点滅し、画面に“CHECK”と表示され、楽曲リストが更新されます。

フォルダを選択する

- 停止状態でないときは、［停止 ■/ 戻る］を押す。

❶ [フォルダ] を押す

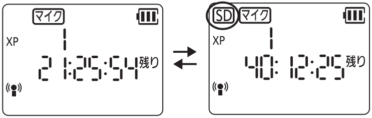
押すたびに



※“音楽”フォルダにファイルを転送していない場合は、現在時刻が表示されます。
SD カード選択時は、画面に“SD”が表示されます。（下記）

内蔵メモリーと SD カードを切り替える

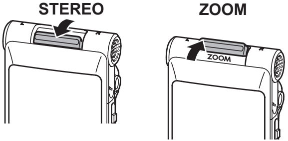
［フォルダ］を約 1 秒以上押したままにして、内蔵メモリーまたは SD カードを選択してください。

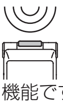


内蔵メモリー選択時　　SD カード選択時

マイクポジションを切り替える

マイクポジションを ZOOM（ズーム）に切り替えると、前方正面の音を強調して録音することができます。
用途に応じてマイクを切り替えてください。



マイクポジション	おすすめの用途
STEREO（ステレオ） 全方向ステレオマイクの機能です。	会議や大人数での演奏など広い範囲の録音に適しています。
ZOOM（ズーム） 前方正面を強調する機能です。	講義やインタビューなど特定方向の録音に適しています。

- 録音中はマイクポジションを切り替えないでください。意図した録音の特性が得られません。
- マイクポジションの機能は内蔵マイク使用時に働きます。外部マイクを接続して録音（P29）する場合や、他機器を接続して本機に録音（P31）する場合は働きません。

録音する

上手に録音するために

本機は高感度マイクを搭載しているため、録音中マイクに直接息や風が当たると風切り音として録音されたり音声が聞き取りにくくなる場合があります。

1. 体で風をさえぎるといった方法で本機に風が直接当たらない状態にすると改善できます。

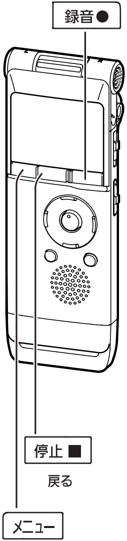


2. 口述録音の場合には本機を口の正面からずらすか距離を離してご使用ください。



※ Low Cut フィルタ（P18）を ON にすると低い周波数の音をカットするので、風切り音が軽減する場合があります。

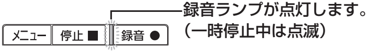
- 内蔵メモリーや SD カードの使用状況によっては、録音時（特に PCM 録音時）に音とびが発生することがあります。一度フォーマット（P14）してから録音することをおすすめします。

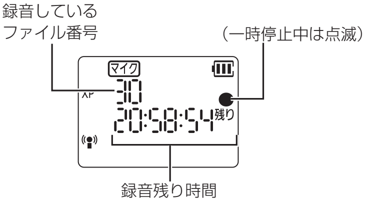


- 電源を入れておく。（P8）
- 停止状態でないときは、［停止 ■ / 戻る］を押す。

❶［録音 ●］を押す（録音開始）

押すたびに　一時停止 ⇄ 録音再開



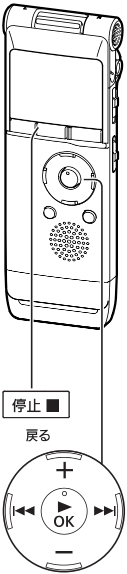


- 録音中または録音一時停止中に［メニュー］を押すと、録音残り時間表示と録音経過時間表示が切り替わります。

停止する：［停止 ■ / 戻る］を押す

- 録音の前に、電池の残量が十分にあることを確認してください。
- 必要に応じて“音質”や“マイク感度”を変更してください。（P17、18）
- 録音シーンに対応したおすすめの録音設定を、一括で呼び出すことができる録音シーンセレクト機能があります。（P16）
- 録音中のファイルサイズが 2 GB を超える場合は、2 GB で一度録音を停止し、引き続き新しいファイルで録音を再開します。録音停止から録音再開までの間（2 秒程度）の内容は録音されません。
- **録音中、本機を手でこすったり物が触れると、マイクを通して、ガサガサという音が録音されます。お気をつけください。**

再生する



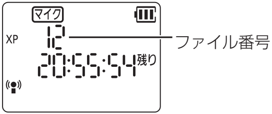
- 停止状態でないときは、［停止 ■ / 戻る］を押す。
- フォルダを選択しておく。（P10）
- ファイルを選択しておく。（下記）

❶ ［▶ OK］を押す（再生開始）



ファイルの選択

⏮、⏭ で選びます。
押すたびにファイル番号が変わります。



［停止 ■ / 戻る］を押すたびに、表示内容（録音残り時間 / 総再生時間（選択ファイルの長さ（時間））/ 現在時刻 / 日付 / 録音時刻※ / 録音日※）が切り替わります。

※“音楽”フォルダでは表示されません。

音量を調整する

音量を大きくする：＋ を押す
音量を小さくする：－ を押す

0 から 20 までの間で調整できます。
（お買い上げ時は“12”）
音量が 17 以上の状態で電源を切った場合、次に電源を入れたとき、音量は 16 に設定されます。

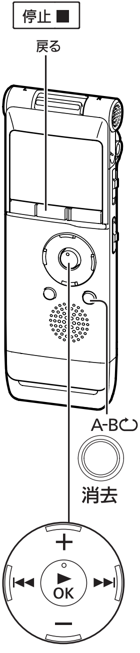
再生中の操作

とび越し（スキップ）：
⏮、⏭ を押す。
ファイルの途中で ⏮ を押すと、そのファイルの先頭にとびます。前のファイルに戻る場合は、ファイル先頭で約 1 秒以内に ⏮ を押す。

早戻し / 早送り（サーチ）：
⏮、⏭ を押したままにする。

停止する：［停止 ■ / 戻る］を押す。

ファイルを消去する / フォーマットする



不要なファイルを消去します。

- 停止状態でないときは、[停止 ■/ 戻る]を押す。
- 消去したいファイルまたはフォルダを選択しておく。（P10、13）

消去方法は 3 種類あります。

FILE： ファイルを1つだけ選んで消去します。

FOLDER： 選択したフォルダ内の全ファイルを消去します。（サブフォルダ内のファイルやフォルダ自体は消去できません。）

ALL ERASE： 内蔵メモリーまたは SD カード内の全ファイルおよびパソコン接続時に表示されるフォルダ内のデータなど**すべてのデータを消去します。**（フォーマット）

❶ [消去 / A-B↺] を押す

- キャンセルするには、もう一度［消去 / A-B↺］または［停止 ■/ 戻る］を押します。

❷ ⏮、⏭ で消去方法を選び、[▶ OK] で決定する

- ファイルを 1 つだけ消去したいときに誤って、“FOLDER” や “ALL ERASE” を選択しないようによく確認して選んでください。
- 消去方法を “ALL ERASE” にした場合は、⏮、⏭ で内蔵メモリー（InT）または SDカード（Sd）を選び、[▶ OK] で決定したあと、手順 ❸ にすすんでください。

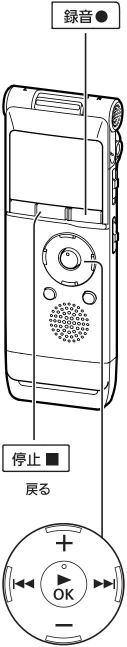
❸ ⏮、⏭ で “YES” を選び、[▶ OK] で決定する

消去中は動作表示ランプが点滅します。消去の完了までに数分かかる場合があります。

- “OK” と表示されたら、消去またはフォーマットの完了です。
- “no” を選ぶと消去またはフォーマットを中止します。
- SD カードを入れずにフォーマットすると “NO-Sd” と表示されます。

- 消去すると元に戻すことはできません。
- フォーマットの前に、必要なファイルはパソコンや外部機器に保存してください。
- フォーマット中は、取り消しはできません。
- 消去の前に、電池の残量が十分にあることを確認してください。
- フォーマット中に、電池や SD カードを抜かないでください。
- ファイル消去（FILE）およびフォルダ消去（FOLDER）では、本機で再生可能なファイルのみ消去できます。ただし、パソコンから転送した読み取り専用の音楽ファイルなどは本機では消去できません。パソコンで消去してください。（P37）
- ファイル消去（FILE）後、本機に表示されるファイル番号は前詰めされます。

サウンドモニター機能



マイクで集音した音を強調、調整してインサイドホン（市販）で聴くことができます。本機には 4 つのサウンドモニターシーンがあります。

- 停止状態でないときは、［停止 ■ / 戻る］を押す。
- インサイドホン(市販)を接続しておく。(P32)

❶［▶ OK］を約 1 秒以上押したままにする

音量が 17 以上の状態でサウンドモニターを起動した場合、音量は 16 に設定されます。

❷⏮、⏭ でサウンドモニターシーンを選ぶ

❸＋、－ で音量を調整する

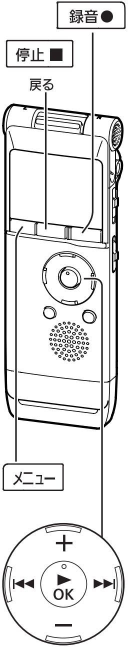
サウンドモニター機能を停止するには：

［停止 ■ / 戻る］を押す。

サウンドモニターシーン	効果と用途
M1 LECT	【レクチャー】音声帯域を強調し、会話など人の声の聞き取りに適しています。
M2 LIVE	【ライブ】広い周波数帯域で集音します。臨場感あふれるテレビ視聴などに適しています。
M3 PARTY	【パーティー】全方向からの音声を強調して集音します。複数人での歓談などに適しています。
M4 HALL	【ホール】低・中音域を強調します。発表会など、広い屋内での音声などの聞き取りに適しています。

- サウンドモニター中に、［録音 ●］を押すと録音が開始され、“マイク”フォルダに録音されます。
  - 選択中のサウンドモニターシーンで強調、調整された音声が録音されます。
  - 音質（P17）はすべてのサウンドモニターシーンで“XP”となります。
- 接続した外部マイク (P29) の音声でも、サウンドモニターを使って聴いたり録音したりできます。（接続したマイクの特性によっては、内蔵マイクを使用したときと効果が異なる場合があります。）
- ハウリングを防止するため、インサイドホン（市販）とマイクを近づけないでください。

録音シーンを選択する（録音シーンセレクト）

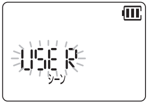


本機には録音シーンごとにおすすめの録音設定があり、録音シーンを選ぶことで手軽に録音することができます。

• 停止状態でないときは、［停止 ■ / 戻る］を押す。

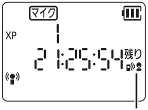
❶［メニュー］を押す

❷ ⏮、⏭ で “シーン” を選び、［▶ OK］で決定する



❸ ＋、− で録音シーンを選び、［▶ OK］で決定する

（お買い上げ時は “USER”）



選択した録音シーンが表示されます。

設定画面を閉じるには [停止 ■ / 戻る] を押す。

［録音 ●］を押すと、選択した録音シーンの設定で録音されます。

■録音シーンのお買い上げ時の設定

録音シーン（用途）／設定項目	おけいこ	会話	講義
	発音練習など自分の声の録音に。	インタビューや会話など声の録音に。	教室での講義などの音の録音に。
音質（P17）	XP：192 kbps	LP：64 kbps	XP：192 kbps
マイク感度（P18）	HI（高）	LO（低）	HI（高）
Low Cutフィルタ(P18)	OFF	ON	ON

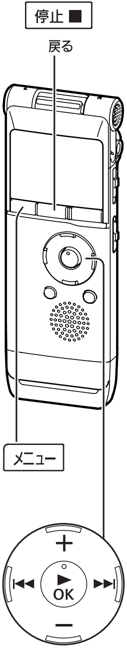
● 手順 ❸ で “USER” を選ぶと、録音シーンを設定する直前の状態に戻り、録音シーンは表示されません。

● 録音シーンの設定後、音質（P17）などの設定を変更すると “USER” に現在の設定が上書きされ、録音シーンの表示が消えます。

● 録音シーンはマイク録音の場合に働きます。他機器と接続し、マイク / ライン切り替えスイッチを [ライン] にしている場合（P31）、録音シーンは働きません。

音質を切り替える

録音時の音質を変更することができます。目的に応じて最適な音質を選ぶことができます。



- 停止状態でないときは、［停止 ■ / 戻る］を押す。

❶ ［メニュー］を押す

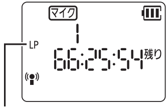
❷ ⏮、⏭ で“音質”を選び、［▶ OK］で決定する



❸ ＋、－ で“PCM”、“XP”、“LP”または“SLP”を選び、［▶ OK］で決定する

（お買い上げ時は“XP”）

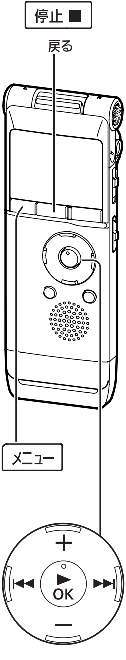
設定画面を閉じるには [停止 ■ / 戻る] を押す。



● 設定によって音質と録音可能時間（P49）が変わります。

	高音質 ←			→ 長時間
録音方式	PCM (44.1 kHz)	XP (MP3 192 kbps)	LP (MP3 64 kbps)	SLP (MP3 32 kbps)

● 音質が“SLP”の場合、モノラル録音になります。



マイク感度を切り替える

音源の音量に応じてマイク感度を切り替えてください。音源の音量が大きい場合は感度を"LO"（低）に、音量が小さい場合は感度を"HI"（高）に設定します。

- 停止状態でないときは、［停止■/戻る］を押す。

❶［メニュー］を押す

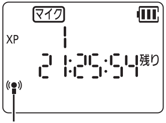
❷⏮、⏭で"((•))"を選び、［▶ OK］で決定する

❸＋、−で"HI"または"LO"を選ぶ

HI：マイク感度を高感度に設定します
LO：マイク感度を低感度に設定します
（お買い上げ時は"HI"）

❹［▶ OK］で決定する

設定画面を閉じるには［停止■/戻る］を押す。



HIは"((•))"、
LOは"(•)"が
表示されます。

録音中の低域ノイズを抑える

マイク録音時に低い周波数の音を減衰させます。会議録音などで気になる空調設備の音などを低減したいときに効果的です。(Low Cutフィルタ)

- 停止状態でないときは、［停止■/戻る］を押す。

❶［メニュー］を押す

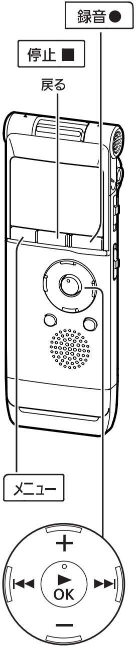
❷"L.CUT"が点滅表示されるまで、⏮を押し、［▶ OK］で決定する

❸＋、−で"On"を選び、［▶ OK］で決定する

（お買い上げ時は"OFF"）

設定画面を閉じるには［停止■/戻る］を押す。

無駄な録音を防ぐ（VOS 設定）



VOS（Voice Operation System）を設定すると、マイク録音時、無音状態が約 2 秒間続くと自動的に録音を一時停止します。音声を感知すると再び録音を開始します。

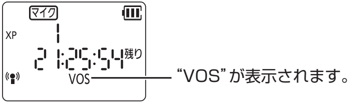
・停止状態でないときは、［停止 ■ / 戻る］を押す。

❶［メニュー］を押す

❷ ⏮、⏭ で“VOS”を選び、［▶ OK］で決定する

❸ ＋、ー で“On”を選び、［▶ OK］で決定する

（お買い上げ時は“OFF”）

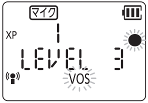


設定画面を閉じるには [停止 ■ / 戻る] を押す。

VOS 録音を開始するには［録音 ●］を押す。

VOS 動作レベルの調整：

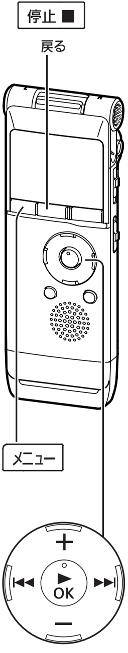
VOS 録音中に⏮、⏭ を押します。
（お買い上げ時は“LEVEL 3”）



● 1 ～ 5 段階で調整できます。
● 録音する音声が小さい場合は、VOS 値（感知レベル）を大きくします。音声が大きい場合は、VOS 値を小さくします。

● 大切な録音をするときは、VOS 設定を OFF に設定してください。
● Low Cut フィルタを ON にすると低域の音がカットされるため、正しく VOS 録音されない場合があります。そのような場合は、Low Cut フィルタを OFF にしてください。（P18）
● 無音状態で録音一時停止になると、“VOS”、録音ランプ、“●”が点滅します。この録音一時停止中から［録音 ●］を押すと通常の録音一時停止になり“VOS”が点灯になります。

指定した時刻に録音する（タイマー録音）



- 停止状態でないときは、[停止 ■/ 戻る] を押す。
- 録音先を SD カードにする場合は、あらかじめ SD カードを入れておく。（P25）

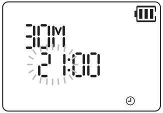
❶ [メニュー] を押す

❷ ⏮、⏭ で “ ◴ ” を選び、[▶ OK] で決定する

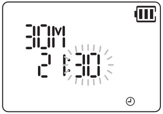
❸ ＋、－ で録音時間を選び、⏭ を押す

30M：30 分
1h：　1 時間
2h：　2 時間
ALL：空き容量いっぱいまで
OFF：タイマー設定を無効にする

❹ ＋、－ で録音を開始する時間の「時」を指定し、⏭ を押す



❺ ＋、－ で録音を開始する「分」を指定し、⏭ を押す



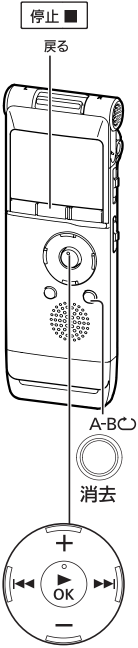
❻ ＋、－ で録音先を選び、[▶ OK] で決定する

Sd：　SD カード
InT：内蔵メモリー

設定画面を閉じるには [停止 ■ / 戻る] を押す。

タイマー予約設定後は “◴” が表示されます。
予約時刻の約 1 分前になると “●”、録音ランプ、“◴” が点滅し、スタンバイ状態になります。
タイマー録音実行中は “◴” が点滅します。
タイマー録音実行中やスタンバイ中に
［停止 ■ / 戻る］ を押すと、実行を中止できます。

- 予約時刻に電源を切っていた場合は電源が入って予約を実行し、終了時刻に電源が切れます。再生中の場合は再生を停止し、タイマー録音を実行します。
- タイマー録音中は、以下のボタン操作ができます。ホールド中の場合は、ホールドを解除してから操作してください。
  ボタン操作：[メニュー]、[停止 ■ / 戻る]、＋ / －（音量）、⏮、⏭（P19、VOS 設定時のみ）
- 電池交換すると、タイマー設定が無効になりますので、設定し直してください。

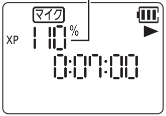


再生速度を変更する

再生速度を遅聞き 0.5 倍速（50%）から早聞き 2 倍速（200%）まで 21 段階で調整できます。

❶ 再生中に［▶ OK］を押す

❷ ⏮、⏭ を押して再生速度を調整する



- ⏭：押すたびに再生速度が速くなります。
- ⏮：押すたびに再生速度が遅くなります。

1 倍速（100%）よりも速い場合は 10%ずつ、1 倍速（100%）よりも遅い場合は 5%ずつ、再生速度を調整できます。

- ［停止 ■ / 戻る］を押すと 1 倍速（100%）に戻ります。

❸［▶ OK］を押す

設定値が確定します。

● ファイルによっては、正常に再生できないことがあります。

● 再生速度を変更すると、ノイズキャンセルは働きません。（P24）

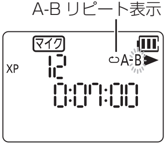
A-B リピート再生

始点（A）と終点（B）を設定すると、その間を繰り返し再生します。

- シャドーイング機能は OFF にする。（P22、手順 ❶ ～ ❸ で OFF を選択）

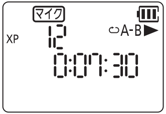
❶ 再生中に［消去 / A-B⭯］を押す

始点（A）が設定され "⭯A-"（点灯）と "B"（点滅）が表示されます。



❷ 終点（B）で［消去 / A-B⭯］を押す

"⭯A-B"（点灯）に変わり、A-B リピート再生が始まります。



A-B リピート再生を解除する：

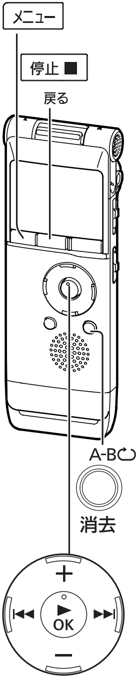
もう一度［消去 / A-B⭯］を押します。
（［停止 ■ / 戻る］または ⏮、⏭ でも解除できます。）

● 始点（A）と終点（B）の間が約 2 秒以下の場合、A-B リピート設定できません。

● 始点（A）を設定したまま、ファイルが終わりまで再生されると、ファイルの終端を終点（B）として A-B リピートが開始されます。

● ファイルをまたいでの A-B リピートはできません。

シャドーイング再生

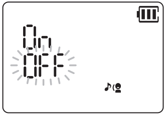


シャドーイングとは、音声を聞きながら、聞こえた音をほぼ同時に繰り返して言う学習方法です。本機のシャドーイング機能を使うと、A-B リピート区間を通常音量と無音で、交互に繰り返し再生します。語学学習などに便利です。

- 停止状態でないときは、［停止 ■ / 戻る］を押す。

❶［メニュー］を押す

❷ ⏮、⏭ で“♪”を選び、［▶ OK］を押す

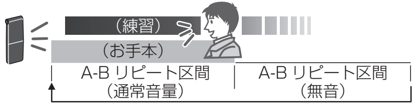


❸ ＋、− で“On”を選び、［▶ OK］で決定する

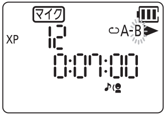
シャドーイング機能が ON になります。（お買い上げ時は“OFF”）

設定画面を閉じるには [停止 ■ / 戻る] を押す。

❹ シャドーイング再生させたいファイルを選び（P 10、13）、［▶ OK］を押す

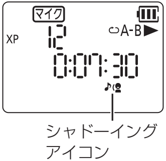


❺［消去 / A-B］を押す



始点（A）が設定され“A-”（点灯）と“B”（点滅）が表示されます。

❻ 終点（B）で［消去 / A-B］を押す



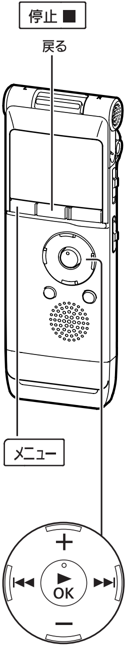
“A-B”（点灯）に変わり、シャドーイング再生が始まり、A-B リピート再生と無音再生を繰り返します。A-B リピート再生中は、シャドーイングアイコンが点灯し、無音再生中は点滅します。

シャドーイング再生を解除する：

もう一度［消去 / A-B］を押します。
（［停止 ■ / 戻る］または ⏮、⏭ でも解除できます。）

- 始点（A）と終点（B）の間が約2秒以下の場合、シャドーイング設定できません。
- 始点（A）を設定したまま、ファイルが終わりまで再生されると、ファイルの終端を終点（B）としてシャドーイング再生が開始されます。
- ファイルをまたいでのシャドーイング再生はできません。

位置を指定して再生（時間指定サーチ）

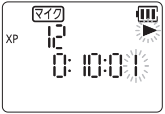


時間指定した位置から再生することができます。

❶ 再生中に［メニュー］を押す

再生が停止し、現在の再生位置（時間）が表示されます。

❷ 再生開始位置を設定する



⏮、⏭ で“時”、“分”、“秒”を選び、＋、− で数値を変更します。

- ［メニュー］または［停止 ■ / 戻る］を押すと、停止状態になります。

❸ ［▶ OK］を押す

指定した位置から再生されます。

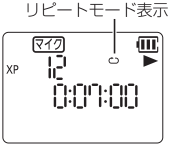
設定画面を途中で閉じるには［停止 ■ / 戻る］を押す。

● 時間指定サーチは選択中のファイルでのみ行うことができます。

繰り返し再生（リピート設定）

❶ 再生中または停止中に［メニュー］を約 2 秒以上押したままにする

［メニュー］を約 2 秒以上押したままにするごとにリピートモードが切り替わります。



表示無し ：通常の再生です。1 つのフォルダ内の選択したファイルから最終ファイルまで再生して停止します。

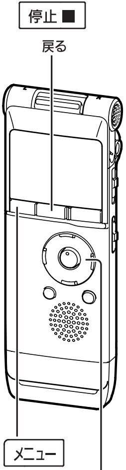
1 ⟲ ：1 つのファイルを繰り返して再生します。

⟲ ：1 つのフォルダ内の全ファイルを繰り返して再生します。

ALL ⟲：“マイク”フォルダと“ライン”フォルダの場合、⟲と同じ動作になります。“音楽”フォルダ（P39）の場合、フォルダ内の全ファイル（最大 999 ファイル）を繰り返して再生します。

再生中のノイズを軽減する（ノイズキャンセル）

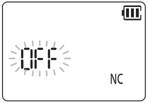
再生中のノイズを軽減し、目的の音を聞き取りやすくします。



• 停止状態でないときは、［停止 ■ / 戻る］を押す。

❶［メニュー］を押す

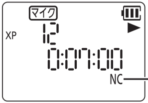
❷⏮、⏭ で“NC”を選び、［▶ OK］で決定する

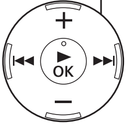


❸＋、－ でノイズキャンセルの種類を選び、［▶ OK］で決定する

（お買い上げ時は“OFF”）

設定画面を閉じるには [停止 ■ / 戻る] を押す。





種類	効果
OFF	ノイズを軽減しません。
HI	強めにノイズを軽減します。
LO	弱めにノイズを軽減します。

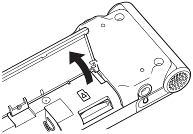
● 再生速度を変更（P21）すると、ノイズキャンセルは働きません。
● サンプリング周波数が 16 kHz 未満のファイル再生中は、ノイズキャンセルは働きません。

SD カードを使用する

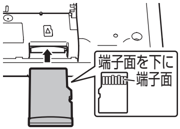
本機は、内蔵メモリーのほかに microSD/microSDHC カードを使用することができます。
新しい SD カードは本機でフォーマット（P14）してからお使いください。

SD カードを入れる

❶ 電源を切り、電池 / SD カード挿入部ふたを開ける



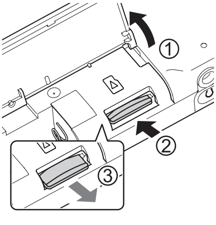
❷ SD カードを入れ、電池 / SD カード挿入部ふたを閉じる



SD カードの向き（◭）を合わせて「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。

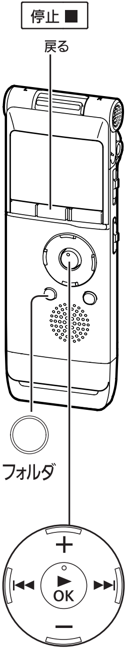
SD カードを取り出すときは：

①本機の電源を切り、電池 / SD カード挿入部ふたを開けます。
②SD カードを軽く押してください。
③SD カードが少し出てくるので、ゆっくりと引き抜いてください。



- 停止中の画面で [フォルダ] を約 1 秒以上押したままにすると、内蔵メモリーと SD カードを切り替えることができます。(P10)
- 本機は、2 GB の microSD カード、および 4 GB ～ 32 GB の microSDHC カードに対応しています。（2012 年 6 月現在）
- SD カードの製造メーカーや種類によっては本機で正しく動作しないものもあります。
- 当社基準において動作確認済みの SD カードについては、当社サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/
- SD カードを入れて、SD カードを選択しているのに、画面に“SD”が表示されない場合は、本機が SD カードを認識していません。電源を切り、SD カードを入れ直してください。
- 内蔵メモリーと SD カードとの間で、録音ファイルのコピーはできません。

本機で音楽を聴く（MP3 音楽ファイル）

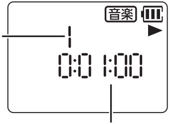


・パソコンから本機に音楽ファイルを転送しておく。（P40）

“音楽”フォルダからファイルを選ぶ：

フォルダ選択の方法は P10、ファイル選択の方法については、P13 をご覧ください。

❶ ファイルを選び、[▶ OK] を押す



※ 全曲リピート（ALL ↻）時は、全曲中のファイル番号が表示されます。

再生操作については、P13 をご覧ください。

● 本機の電源を入れたあと、初めて“音楽”フォルダを選択すると、動作表示ランプが点滅し、画面に“CHECK”と表示され、楽曲リストが更新されます。
● “音楽”フォルダを選択した状態で、電源を切ったあと、電源を入れると、動作表示ランプが点滅し、画面に“CHECK”と表示され、上記画面になります。
● MP3 ファイルと本機で録音した PCM（WAV）ファイルのみ再生できます。
● ファイルの楽曲情報（ID3 タグなど）は、本機では表示されません。
● “音楽”フォルダでは、1つのフォルダにつき 199 ファイルまで認識して再生できます。サブフォルダを作成している場合は、その数だけ認識できるファイル数が減ります。（本機のフォルダ構造について：P39）
● 著作権保護された MP3 音楽ファイルは再生できません。
● 可変ビットレートの MP3 音楽ファイルも再生できる場合がありますが、再生経過時間やビットレートの表示が実際と異なったり、A-B リピートの際にリピート位置が設定位置と異なることがあります。
● ファイルサイズが 2 GB を超えるファイルは再生できません。

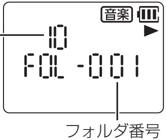
・ID3 タグ：MP3 ファイルに格納される曲名などの情報
・MP3： MPEG Layer-3 オーディオの略称で、音声圧縮規格の一種
・可変ビットレート：音声圧縮時にビットレートを可変させる方式

フォルダ頭出し機能

“音楽”フォルダ内のファイル再生中にフォルダ内のサブフォルダを簡単に切り替えることができます。

❶ 再生中に［フォルダ］を押す

“FOL”が表示されます。



❷ “FOL”表示中に、⏮、⏭ を押す

- 前、または次のフォルダの1曲目を頭出しします。
- “FOL”表示中は、再生速度変更や早送り / 早戻しができません。

フォルダ頭出しを解除する：

下記のいずれかの方法で、設定を解除することができます。解除すると、⏮、⏭でファイルのスキップができるようになります。

- もう一度、［フォルダ］を押す
- ［▶ OK］ボタンを押す
- ［停止 ■ / 戻る］を押す（再生が終了します。）

● フォルダ頭出しは、ファイル総数が 999 ファイルまで働きます。
例）111 ファイルずつ入ったフォルダを複数保存した場合、フォルダ頭出しが働くのは、9 個目のフォルダまでです。

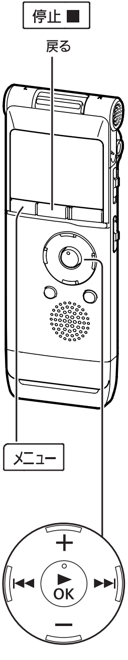
■“音楽”フォルダについて

- 再生対象は以下のフォルダです。
  -MUSIC フォルダ
  -MIC（マイク）、LINE（ライン）、MUSIC 以外のフォルダ※1
  英字はパソコン接続時に表示されるフォルダ名(P39) で、かっこ内は本機で表示されるフォルダ名です。
- “音楽”フォルダ内の再生順序は下記の通りです。
  ① MUSIC フォルダの直下のファイル
  ② MUSIC フォルダのサブフォルダ内のファイル
  ③ MIC、LINE、MUSIC 以外のフォルダ※1内のファイル
  -フォルダが複数存在する場合は、パソコンから本機へ転送した順に再生されます。
  -複数のファイルを一度に転送する場合は、パソコンが決めた転送順で再生されます。
  -ファイル名の先頭に数字を付けることで、各フォルダ内で、ファイルをお好みの順序に再生させることができます。(P38)
  パソコンで、ファイルやフォルダの削除や追加を繰り返すと、再生順序が入れ替わる場合があります。
- フォルダ頭出し（左記）の順序は、MUSIC フォルダ内の全フォルダを頭出ししたあと、MIC、LINE、MUSIC 以外のフォルダ※1の頭出しとなります。

※1 MIC、LINE、MUSIC 以外のフォルダ（P39）の例
本機以外のパナソニック製 IC レコーダー※2で SD カードに録音したファイル（MP3 ファイルまたは PCM ファイル）を、SD カードを差し替えるだけで下記の方法により、本機で再生することができます。
※2 RR-XR320、RR-XR330 を除く（2012 年 6 月現在）
① SD カードに切り替え、“音楽”フォルダを選択する（P10）
② フォルダ頭出しをする（左記）

ファイルを分割する

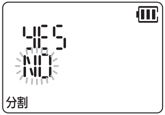
1 つのファイルを指定した位置で 2 つに分割できます。必要部分の抜き出しや不要部分のカットができます。



❶ **再生中にファイルを分割したい位置で［停止 ■ / 戻る］を押す**

❷ **［メニュー］を押す**

❸ **⏮、⏭ で“分割”を選び、［▶ OK］で決定する**



❹ **＋、－ で“YES”を選び、［▶ OK］で決定する**

分割中は動作表示ランプが点滅します。
その後 2 つのファイルに分割され、2 つ目のファイルの先頭位置で停止します。

- “OK”と表示されたら、ファイル分割の完了です。
- “NO”を選ぶと分割を中止します。設定画面を閉じるには [停止 ■ / 戻る] を押します。

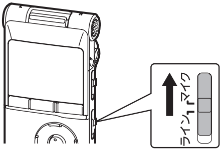
- ●“音楽”フォルダ内のファイルは分割できません。
- ● ファイルを分割するには、約 2 秒以上のファイル長さが必要です。
- ● ファイルの先頭ではファイルの分割ができません。
- ● 分割したファイルを元に戻すことはできません。あらかじめ、パソコンなどにファイルをコピーしてバックアップしておくことをおすすめします。
- ● ファイル分割が完了するとフォルダ内のファイルが 1 つ増えます。
- ● 内蔵メモリーまたは SD カードの空き容量がない場合や、すでに 199 ファイル録音されている場合は、ファイル分割できません。
- ● ファイル分割後のパソコン上でのファイル名については P38 をご覧ください。

外部マイクを接続して録音する

本機のマイク / ライン端子に外部マイクを接続して録音することができます。

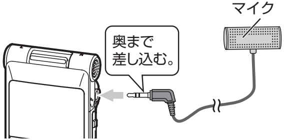
・停止状態でないときは、［停止 ■ / 戻る］を押す。

❶ マイク / ライン切り替えスイッチを［マイク］に切り替える



❷ 外部マイクを接続する

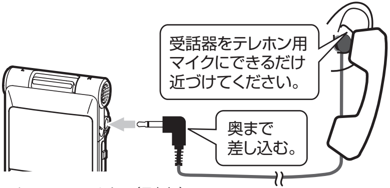
外部マイクの接続：



プラグインパワーで φ 3.5 mm ステレオミニプラグのマイクを使用してください。（推奨品：RP-VC201）

テレホン用マイクの接続：

①テレホン用マイクのプラグを本機のマイク / ライン端子に接続する
②テレホン用マイクを、受話器を当てる側の耳に挿入する
③電話をする



テレホン用マイク（別売）
（推奨品：RP-WA1A）
φ 3.5 mm モノラルミニプラグ

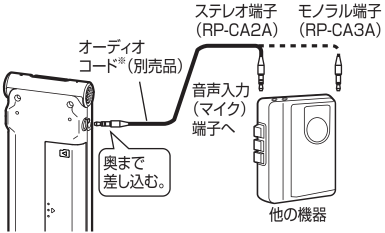
❸［録音 ●］を押して、録音を開始する

録音操作については、P12 をご覧ください。

● 接続する機器の説明書もお読みください。
● 別売品の品番は、2012 年 6 月現在の品番です。
● 録音レベルが小さい、または大きすぎる場合は、マイク感度を調整してください。（P18）
● マイク / ライン端子に機器を接続している間は、本機の内蔵マイクは働きません。
● テレホン用マイクなど、接続した外部マイクがモノラルの場合、片チャンネルしか録音されない場合があります。

本機から他機器へダビングする

❶ 本機のインサイドホン端子（🎧）と他機器の音声入力（マイク）端子を、オーディオコードで接続する



※推奨品
RP-CA2A：3.5 mm ステレオミニプラグ
- 3.5 mm ステレオミニプラグ（抵抗入り）
RP-CA3A：3.5 mm ステレオミニプラグ
- 3.5 mm モノラルミニプラグ（抵抗入り）

❷ 他機器の録音を開始する

❸ ダビングしたいファイルを本機で再生する

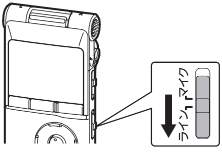
- 接続する機器の説明書もお読みください。
- 別売品の品番は、2012 年 6 月現在の品番です。
- モノラル / ステレオ（接続する機器）に応じた接続コードをお使いください。間違った組み合わせで使用した場合、片チャンネルしか録音されないなど、正常に録音できない場合があります。
- ダビング後の音質は、ダビング前の音質とは異なる場合があります。
- 適切な音量で録音するために、本機で音量を調整してください。

他機器を接続して本機に録音する

他機器を本機のマイク / ライン端子に接続して、“ライン”フォルダに録音します。

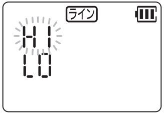
• 停止状態でないときは、［停止 ■ / 戻る］を押す。

❶ マイク / ライン切り替えスイッチを［ライン］に切り替える



❷［メニュー］を押す

❸ ライン が点滅するまで ▶▶| を押し、［▶ OK］で決定する



❹ ＋、－ でライン感度を選び、［▶ OK］で決定する

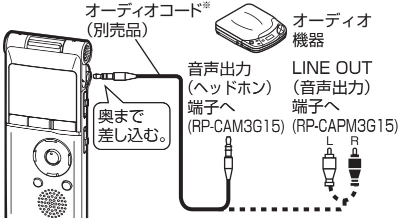
“HI”（高）：他機器のヘッドホン端子と接続する場合

“LO”（低）：ポータブル機器のライン出力端子と接続する場合

（お買い上げ時は“HI”（高））

❺［停止 ■ / 戻る］を押す

❻ 他機器を接続する



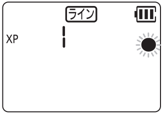
※推奨品

RP-CAM3G15：3.5 mm ステレオミニプラグ - 3.5 mm ステレオミニプラグ（抵抗なし）

RP-CAPM3G15：3.5 mm ステレオミニプラグ - ピンプラグ× 2（抵抗なし）

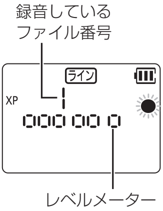
❼［録音 ●］を約 1 秒以上押したままにする

録音スタンバイになります。



他機器を接続して本機に録音する（続き）

❽ 他機器を再生させ、入出力レベルを調整する



①レベルメーターが振り切れて“OVER”が表示される場合は、他機器の音が大きすぎます。音が最も大きくなった場合でも、“▮”が5～6つ表示されるまで他機器の音を調整してください。
ライン感度の設定をやり直す場合は、[停止 ■/ 戻る] を押し、P31 の手順 ❷ から再度行ってください。

②入出力レベルの調整ができたら、他機器の音源を頭出しして停止させます。

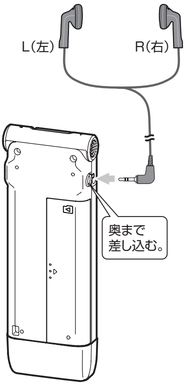
❾ [録音 ●］を押して、録音を開始する

❿ 他機器を再生する

- 接続する機器の説明書もお読みください。
- 別売品の品番は、2012 年 6 月現在の品番です。（P 31）
- 録音中にオーディオコードを抜くと録音が停止します。
- 必要に応じて音質を切り替えてください。（P17）
- ライン入力の録音時、“マイク”または“音楽”フォルダが選択されている場合、フォルダは自動的に“ライン”フォルダに切り替わり、ライン入力した録音ファイルは、“ライン”フォルダに保存されます。

インサイドホンで音声を聴く

インサイドホン（市販）を接続してください。
（プラグタイプ：φ 3.5 mm ステレオミニプラグ）



録音中の音声をモニターする

録音中のモニター音声を聴くことができます。

音量を調整する：

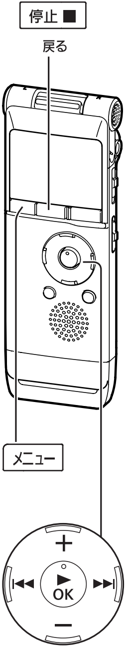
＋、－ を押すと音量を調整できますが、録音される音声には影響しません。

再生中の音声を聴く

再生中の音声は、本機前面の内蔵スピーカーから聞こえます。周りが騒がしく、音が聞き取りにくい場合は、インサイドホンでお聞きください。

- インサイドホンを接続すると、内蔵スピーカーからの音声は出なくなります。

録音、再生に共通する本機の設定を行います。



共通設定の操作のしかた

・停止状態でないときは、［停止 ■ / 戻る］を押す。

❶ ［メニュー］を押す

❷ ⏮、⏭ で設定項目（“ 操作音 ” または “ LED ”）を選び、［▶ OK］で決定する

・点滅している項目が、現在選んでいる設定です。

❸ ＋、ー で設定を変更し、［▶ OK］で決定する

設定画面を閉じるには [停止 ■ / 戻る] を押す。

“時計設定”については、P9 をご覧ください。

操作音（音声ガイド）

ボタン操作時の操作音を設定します。

VOICE：音声ガイドとピッという音を鳴らす
OFF：　鳴らさない
On：　ピッという音を鳴らす
（お買い上げ時は“VOICE”）

● “VOICE”または“On”に設定しても録音中や録音一時停止中、操作音は鳴りません。

LED（録音ランプ）

録音時、録音ランプを点灯させるかどうかを設定します。

On：点灯させる
OFF：点灯させない
（お買い上げ時は“On”）

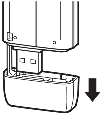
● “OFF”に設定してもファイル消去時などは点滅します。

本機をパソコンに接続する

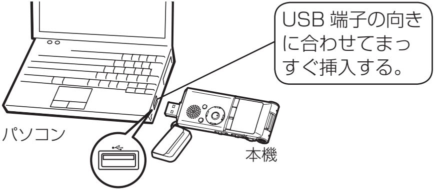
本機で録音した録音ファイルをパソコンに取り込めます。
動作環境の詳細については、P41 をご覧ください。

・パソコンを起動させておく。
・本機の電源を切っておく。

❶ USB 端子ふたを外す



❷ 本機をパソコンの USB ポートに接続する



● USB 端子の状態によってパソコンに接続しにくい場合は、USB 延長ケーブル（別売）（推奨品：RP-CUMB20）をご使用ください。
● 別売品の品番は、2012 年 6 月現在の品番です。
● パソコンとの接続時は、本機に電池がなくても動作します。

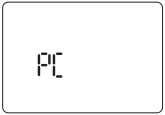
■初めて接続した場合

図のようなメッセージが複数回表示されるので、メッセージが消えるまでは本機を取り外さないでください。表示は Windows XP（OS）の場合です。

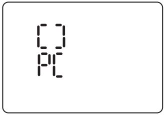


■パソコンに接続中の画面の表示

接続時



通信時



データ転送中は、絶対に本機を抜かないでください。
ファイルデータや本機が壊れる可能性があります。
パソコン接続中は、本機の操作はできません。

- 本機とパソコンを接続していると、パソコンが起動（再起動）しない場合があります。パソコンを起動（再起動）するときは、本機を抜いておくことをおすすめします。
- 次の場合は、動作を保証しません。
  - 1台のパソコンに2台以上の USB 機器を接続している場合（正しく動作しているマウス・キーボードは除く）
  - USB ハブを使用している場合
  - 別売の RP-CUMB20 以外の USB 延長ケーブルを使用している場合
- 本機とパソコンを接続中にパソコンを起動（再起動）したり、パソコンが省電力モードになると、パソコンが本機を認識しないことがあります。本機を取り外して再接続するか、パソコンを再起動してから本機を接続し直してください。
- パソコンの取り扱い方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

■本機を取り外す

パソコンの画面下のタスクトレイにあるアイコン（Windows XP: [ ]、Windows Vista / Windows 7：[ ]）をダブルクリックし、画面の指示に従って取り外してください。（OS の設定によっては表示されません。）
取り外したあとは、本機の電源が切れます。

■USB マスストレージ機能

本機は USB メモリーとしても機能し、パソコンの外部記憶装置として認識されます。
パソコン内のデータファイルを本機内に転送 / 保存することができます。

- OS：パソコンの基本ソフトウェア（Windows XP など）
- マウス：パソコン操作で入力位置の指示などを行う機器
- ダブルクリック：マウスの主ボタン（右利き用マウスの場合は左ボタン）を 2 回連続で押すこと

本機のフォルダを開く

表示は Windows XP（OS）の場合です。OS によって表示は変わります。

・本機をパソコンに接続しておく。（P34）

1.「スタート」から「マイ コンピュータ」を指定して右クリックから「開く（O)」を選ぶ

本機の内蔵メモリー、SD カードが下記の名前で表示されます。
内蔵メモリー：IC RECORDER
SD カード：IC REC SD※





※ SD カードが入っていない場合や、本機でフォーマットされていない SD カードが入っている場合は、「リムーバブルディスク」と表示されます。

2. 内蔵メモリー、または SD カードを指定して右クリックから開く（本機のフォルダ構造について：P39）



3. フォルダを指定して右クリックから開く

本機のファイルが表示されます。



ファイルをパソコンに取り込む / 整理する

・本機をパソコンに接続しておく。（P34）

録音ファイルをパソコンに取り込む

1. 本機の録音ファイルを指定して、右クリックから「コピー (C)」を選ぶ

2. パソコン内のフォルダなどを指定して、右クリックから「貼り付け (P)」を選び、パソコン内へ取り込む

本機のフォルダ　　　　　パソコンのフォルダ



録音ファイルをパソコンで再生する：

本機の録音ファイルを指定して、右クリックから「再生 (P)」を選ぶ。

不要な録音ファイルをパソコンで削除する：

本機の録音ファイルを指定して、右クリックから「削除 (D)」を選び、「はい (Y)」で決定する。

- 「ドラッグ＆ドロップ」でも録音ファイルをパソコンに取り込むことができます。
- データ転送中は、**絶対に本機および SD カードを取り外さないでください。**ファイルデータや本機が壊れる可能性があります。
- **パソコンで、本機および SD カードをフォーマットしないでください。**
- パソコン上で表示されるファイルの拡張子は、MP3 録音ファイルが“MP3”で、PCM 録音ファイルは“WAV”になります。
- “DATA”はデータファイルなどを保存するフォルダです。パソコンから確認できますが本機の画面には表示されません。
- パソコンで本機のフォルダ名“MIC（MIC_SD）、LINE（LINE_SD）、MUSIC”などを変更すると、次に本機の電源を入れた時点で、新たに“MIC（MIC_SD）、LINE（LINE_SD）、MUSIC”フォルダが生成されます。（かっこ内は SD カードの場合）
  名前を変更したフォルダは、本機で“音楽”フォルダを選択すれば再生できます。

・WAV：ファイル格納のフォーマットで複数のファイル形式に対応。本機では PCM ファイルを WAV フォーマットで格納しています。

・右クリック：マウスの副ボタン（右利き用マウスの場合は右ボタン）を押すこと

ファイル名について

本機で録音したファイルの名前について：

例：2012年9月20日17時20分/マイクフォルダ/MP3録音の場合

001_120920_1720V0.MP3

① ② ③④⑤ ⑥

"_"（半角）

① ファイル番号（001 ～ 199）
② 録音日付（半角数字6文字）
③ 録音時刻（半角数字4文字）
④ フォルダ名（V または L）
　V：マイクフォルダ
　L：ラインフォルダ
⑤ キーワード番号（本機では 0）
⑥ ファイル拡張子（.MP3/.WAV）

パソコンでは上記ファイル名が表示されますが、本機画面上では"1"などの番号で表示されます。

ファイル削除 / 分割によるファイル名の自動変更：

本機内の録音ファイルを削除すると、ファイルが前詰めされ、ファイル番号が自動的に再割り当てされます。

例："002_120925_0905V0.MP3"を削除の場合

削除前		削除後
001_120920_1720V0.MP3		001_120920_1720V0.MP3
002_120925_0905V0.MP3		002_121003_1233V0.MP3
003_121003_1233V0.MP3	⇨	003_121231_1915V0.MP3
004_121231_1915V0.MP3		

削除ファイル以降の、すべてのファイル名のファイル番号部分が変更されます。

ファイル分割をするとファイルが増えます。増えたファイル以降のファイル番号は自動的に後ろにずれ、ファイル名のファイル番号部分が変更されます。

パソコンに取り込んだファイルを本機へ戻すには：

パソコンに取り込んだファイルを本機の元のフォルダに戻すと本機で再生できます。（ファイル名を変更している場合は再生できません。）
ただし、ファイル削除などで本機内のファイル名が変更されている場合、戻そうとするファイルとファイル番号が重複し、本機で再生できない場合があります。
一度パソコンに取り込んだファイルを本機に戻して再生する場合は、MUSIC フォルダに転送して再生することをおすすめします。（P40）

MUSIC フォルダ内のファイル名と再生順序：

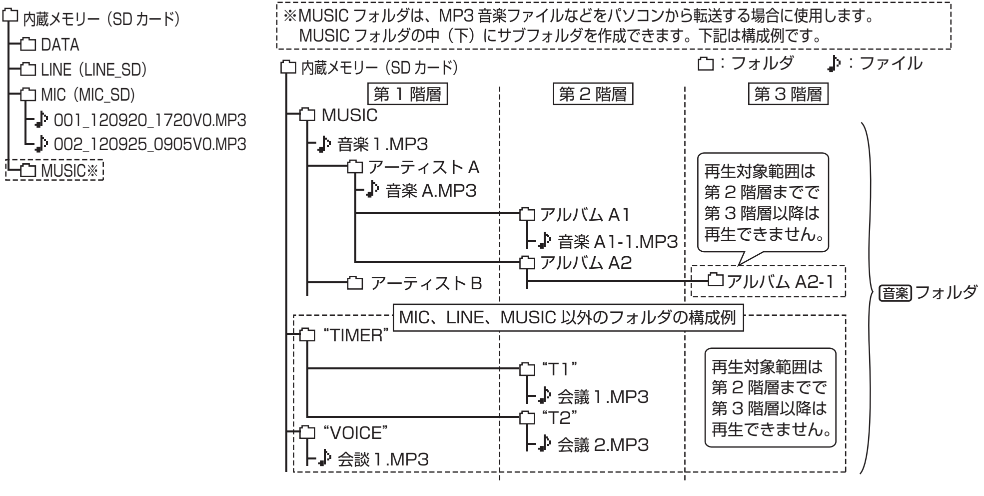
MUSIC フォルダではファイル名の先頭に数字が付いている場合、数字の小さなファイルから優先して再生していきます。数字は 3 ケタまで判別することができます。1、01、001 のように付け方が違う場合、001 ～ 999 が最も優先され、次に 01 ～ 99 で、その次が 1 ～ 9 となります。001 音楽 A.MP3、002 音楽 B.MP3 のようにファイルの先頭に数字を付けることで好みの順序で再生させることができます。表示される順序も再生順になります。
MUSIC フォルダへのファイル転送については P40 を、再生については P26 をご覧ください。

本機のフォルダ構造

“マイク”、“ライン” フォルダは、パソコンでは MIC（MIC_SD）、LINE（LINE_SD）と表示され、それぞれのフォルダ内の録音ファイルを再生します。（かっこ内は SD カードの場合）
“音楽” フォルダは、パソコンでは MUSIC などで表示され、以下のフォルダ内のファイルを再生します。
- MUSIC フォルダ
- MIC、LINE、MUSIC 以外のフォルダ（P27）

“DATA” はデータファイルなどを保存するフォルダです。パソコンから確認できますが本機の画面には表示されません。

本機のフォルダ階層：



本機に音楽ファイルを転送する

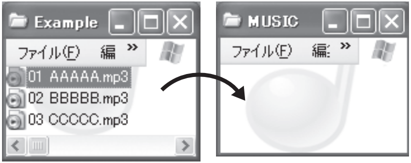
パソコン内にお持ちの音楽ファイルを本機へ転送して、音楽を楽しむことができます。
本機で再生できる音楽ファイルは MP3 または PCM（WAV）※ファイルです。
※ 本機で録音した PCM（WAV）ファイルのみ。

パソコンから本機に音楽ファイルを転送する

・本機の MUSIC フォルダを開いておく。（P36）

1. 転送したい音楽ファイルを指定して、右クリックから「コピー (C)」を選ぶ

2. 本機の MUSIC フォルダを指定して、右クリックから「貼り付け (P)」を選び、転送する



本機では、1つのフォルダにつき 199 ファイルまで認識して再生できます。サブフォルダを作成している場合は、その数だけ認識できるファイル数が減ります。

- 「ドラッグ&ドロップ」でも音楽ファイルを本機に取り込むことができます。
- データ転送中は、**絶対に本機および SD カードを取り外さないでください。**ファイルデータや本機が壊れる可能性があります。
- MUSIC フォルダの中にサブフォルダを作ってファイルを転送し、再生することができます。フォルダ構造については、P39 をご覧ください。
- 音楽ファイルは、MIC（MIC_SD）または LINE（LINE_SD）フォルダに転送しても再生できません。（かっこ内は SD カードの場合）

パソコンの動作環境

（2012 年 6 月現在）

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機、Macintosh	
対応 OS	• Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional および Service Pack 2、3 • Microsoft® Windows Vista® Home Basic/Home Premium/ Business/Ultimate および Service Pack 1、2 • Microsoft® Windows® 7 Starter/Home Premium/Professional/ Ultimate および Service Pack 1	プリインストールされた各日本語版
	• Mac OS X 10.2.8 － 10.7	
インターフェース	USB 端子（USB ハブで接続した場合の動作は保証していません。）	

※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※（Macintosh）OS の標準ドライバーで動作します。
※ NEC　PC-98 シリーズとその互換機での動作は保証していません。
※ 対応 OS 以外での動作は保証していません。
※ OS のアップグレード環境での動作は保証していません。
※ お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
※ Windows Media® Player をご使用の際には、お客様ご使用のパソコンが Windows Media® Player の動作環境を満たしている必要があります。Windows Media® Player に関する詳細は Microsoft 社にお問い合わせください。

パソコンの環境によっては本機で録音した音声データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音声データの損失ならびにその他の直接 / 間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。

Q&A（よくあるご質問）

Q（質問）	A（回答）
他のパナソニック製 IC レコーダーで録音したファイルは再生できますか？	・MP3 および PCM 方式の IC レコーダーで録音したファイルは、MUSIC フォルダに転送する（P40）と再生できますが、その他のフォーマット（ADPCM および TRC）のファイルは録音方式が異なるため再生できません。
マンガン電池は使えますか？	・マンガン電池、ニカド電池は使用できません。アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

こんな表示が出たら

表示	ここをご確認ください
199 FULL（音声：ファイルがいっぱいです）	・録音可能ファイル数（199）を超えて録音しようとした場合に表示されます。（P10）
ALL FULL（音声：メモリがいっぱいです）	・内蔵メモリーまたは SD カードに空き容量がないときに録音しようとした場合に表示されます。
NO FILE（音声：ファイルがありません）	・フォルダ内にファイルがないときに再生しようとした場合に表示されます。
Lo bAT（音声：電池を交換してください）	・新しい電池と交換してください。
NO-Sd（音声：microSD カードを挿入してください）	・SD カードを入れてください。（P25）

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここをご確認ください
電池	他機器でまだ使える電池が本機で使用できない	・電池容量がわずかになった時点を寿命としています。
操作	本機が動作しない	・電池が外れていませんか？一度電池を完全に抜いてから、電池を正常に入れ直してください。または、新しい電池に交換してください。 ・ホールド状態になっていませんか？ホールドを解除してください。(P8) ・パソコン接続時は本機では操作できません。
	操作ができない	・ホールド状態になっていませんか？ホールドを解除してください。(P8) ・パソコン接続時は本機では操作できません。
録音	メモリー容量を使い切るのが早い	・音質によって録音可能時間は大きく変わります。(P49) ご使用の目的に応じて音質を選んでください。(P17) ・データファイルが増えていませんか？ファイルを整理してください。(P14)
	録音が勝手に一時停止する	・VOS が働いていませんか (P19)
	録音時にインサイドホン(市販)で音声を聴くと、「ピー」という雑音が混じる	・音量を下げてください。(P13、32) ・インサイドホンと本機を離してください。(P15、32) ・外部マイク使用時は、インサイドホンと外部マイクを離してください。
	録音内容が途中までしか録れていない	・録音中、落下などの衝撃が加わったり、電池が外れたり、電池切れになったりすると、録音データの更新ができないことがあります。 ・メモリーを使い切っていませんか？
	録音できない	・メモリーの空き容量はありますか？ ・フォルダ内に録音可能ファイル数 (199) が録音されていませんか？ 199 ファイル録音されている場合はそれ以上録音できません。

故障かな !?（続き）

こんなときは		ここをご確認ください
録音	録音時に“ERROR”が表示される	・メモリーの書き込みが遅くなっている可能性があります。ファイルをパソコンにバックアップし、本機の内蔵メモリーや SD カードをフォーマットしてください。(P14) ・フォーマットしても改善されない場合は、お使いの SD カードが当社基準において動作確認済みの SD カードがどうかをご確認ください。(P25)
	録音したファイルに音とびが発生する	・パソコンで本機の内蔵メモリーや SD カードをフォーマットしていませんか？パソコンでのフォーマットでは本機の性能が十分に発揮できない場合があります。本機でフォーマットしてください。（P14） ・SD カードの製造メーカーや種類によっては、本機で正しく動作しないものもあります。 ・当社基準において動作確認済みのカードについては、当社サポートサイトでご確認ください。 http://panasonic.jp/support/audio/ ・VOS が働いていませんか？（P19）
	録音した音声にガサガサと雑音が入る	・録音中、本機を手でこすったり物が触れると、マイクを通してガサガサという音が録音されます。マイク録音中は、できるだけ本機に物が触れないようにしてください。
	録音した音が割れる 音声のしゃべりだし（頭の）部分に「ボッボッ」とノイズがある	・マイク感度（P18）を下げるか、または録音音源からの距離を遠ざけてください。それでも音割れする場合は、Low Cut フィルタ設定（P18）を ON にして録音してください。
	録音した音声に雑音がまざって聞き取りにくい	・本機と携帯電話を近づけて使っているときは、本機と携帯電話を離してください。 ・Low Cut フィルタ設定を ON にしてください。雑音が減り、聞き取りやすくなる場合があります。（P18） ・音質（P17）やマイク感度（P18）を切り替えて試し録りしながら、最適な録音設定にしてください。
	録音した音が大きすぎたり小さすぎたりする	・マイク感度を切り替えてみてください。（P18）

こんなときは		ここをご確認ください
録音	タイマー録音ができない	・メモリーの空き容量はありますか？ ・フォルダ内に録音可能ファイル数（199）が録音されていませんか？ 199 ファイル録音されている場合はそれ以上録音できません。 ・本機がパソコンに接続されている場合は、動作しません。パソコンから取り外してください。 ・タイマー録音開始時刻に他の録音をしていると現録音が優先されます。録音を停止してください。ただし、録音以外の操作で使用している場合は、タイマー録音が優先されます。 ・録音先を SD カードにして、タイマー録音開始時刻前に SD カードを抜いた場合は動作しません。
再生	スピーカーから音が出ない	・インサイドホン（市販）を接続していませんか？（P32）
	音声が聞こえない	・音量を調整してください。（P13）
	“マイク”、“ライン”フォルダ内のファイルが再生できない	・ファイル名が変更されていませんか？“マイク”、“ライン”フォルダ内では「本機で録音したファイルの名前について」(P38) に従った名前のファイルしか再生できません。ファイル名を変更していない場合でもフォルダ内でファイル番号が重複していると再生できません。MUSIC フォルダに転送すると再生できます。（P40） ・転送先が異なっていませんか？パソコンからファイル転送する際、MIC（MIC_SD）、LINE（LINE_SD）フォルダに入れても、本機で再生できません。MUSIC フォルダに転送してください。（かっこ内は SD カードの場合）（P40）
	“音楽”フォルダ内のファイルが再生できない、または正しく再生できない	・本機では MP3 ファイルと本機で録音した PCM（WAV）ファイルを再生できます。WMA、AAC など、その他のファイルは再生できません。 ・“音楽”フォルダの再生対象範囲は、P39 をご覧ください。 ・“音楽”フォルダでは、1つのフォルダにつき最大 199 ファイルまで認識して再生できます。サブフォルダを作成している場合は、その数だけ認識できるファイル数が減ります。それを超えて転送されたファイルは再生されません。

故障かな!?（続き）

	こんなときは	ここをご確認ください
再生	再生速度が速かったり、遅かったりする	・再生速度を変更していませんか？（P21）
	インサイドホン（市販）から音が聞こえない、聞こえにくい、雑音がする	・プラグは奥までしっかりと差し込まれていますか？ ・プラグが汚れていませんか？プラグをきれいにふいてください。
	選択ファイルが勝手に変わる	・パソコンに接続して本機のファイルを削除すると、本機での選択ファイルが変わる場合があります。
	A-B リピート再生すると、無音が再生される	・シャドーイングが ON になっていませんか？（P22）
	全曲リピート（ALL ↻）設定ができない	・“音楽”フォルダに 1000 ファイル以上ある場合、999 ファイルまで全曲リピート設定できます。（P23）
	フォルダ頭出しが働かない	・“音楽”フォルダのフォルダ頭出しは、ファイル総数が 999 ファイルまで働きます。（P27） 例）111 ファイルずつ入ったフォルダを複数保存した場合、 フォルダ頭出しが働くのは、9 個目のフォルダまでです。
サウンドモニター	「ピー」という雑音が混じる	・音量を下げてください。（P13、15） ・インサイドホン（市販）と本機を離してください。（P15、32） ・外部マイク使用時は、インサイドホンと外部マイクを離してください。
	インサイドホン（市販）から音が聞こえない、聞こえにくい、雑音がする	・プラグは奥までしっかりと差し込まれていますか？ ・プラグが汚れていませんか？プラグをきれいにふいてください。

こんなときは		ここをご確認ください
その他	電源が入らない	・電池が消耗していませんか？新しい乾電池と交換してください。(P7)
	電源が勝手に切れる	・オートパワーオフ機能（停止状態で 30 分間操作しないと自動的に電源が切れる機能）が働いていませんか？（P8）
	SD カードが認識されない “Sd ERROR”が表示される	・SD カードをパソコンなどでフォーマットしていませんか？本機でフォーマットし直してください。(P14) ・SD カードが正しく挿入されていますか？本機の電源を切り、SD カードを入れ直してください。(P25)
	消去時に“ERROR”が表示される	・ファイル属性“読み取り専用”のファイルを消去しようとしています。パソコンに接続し、パソコンで削除してください。(P37)
	ファイル、フォルダが消去できない	・パソコンから転送した MP3 音楽ファイルが読み取り専用の場合や“音楽”フォルダ内にサブフォルダを作成された場合、本機では消去できません。パソコンで消去してください。(P37)
	ファイル分割ができない	・ファイルを分割したい位置まで再生後、[停止 ■ / 戻る] を押してから、分割してください。(P28) ・メモリーの空き容量はありますか？ ・フォルダ内に録音可能ファイル数（199）が録音されていませんか？ 199 ファイル録音されている場合はファイル分割できません。 ・ファイルの録音時間が短すぎませんか？ファイル分割するには約 2 秒以上のファイル長さが必要です。
	パソコンに接続しても、本機を認識しない	・パソコンと本機を正しく接続してください。(P34) ・パソコンから本機を外し、再接続してください。 ・パソコンの OS が非対応ではありませんか？（P41）
	録音ファイルのファイル名や録音日時情報が実際の日時と違う	・時計を合わせてください。(P9)

仕様

電源	乾電池	DC 1.5 V （単4形アルカリ乾電池× 1 本使用）

音声	サンプリング周波数 （[ ] 内は音質）	44.1 kHz [PCM 44.1 kHz] 44.1 kHz [XP: MP3 192 kbps] 22.05 kHz [LP: MP3 64 kbps] 16 kHz [SLP: MP3 32 kbps]
	録音方式	リニア PCM（16 bit）/ MP3
	再生可能ビットレート（音楽フォルダ）	16 kbps ～ 320 kbps（MP3）
	再生可能サンプリング周波数（音楽フォルダ）	8 kHz ～ 48 kHz（MP3）
	周波数特性 （－10 dB、録音 / 再生時） （[ ] 内は音質）	45 Hz ～ 21,000 Hz [PCM 44.1 kHz] 45 Hz ～ 21,000 Hz [XP: MP3 192 kbps] 45 Hz ～ 10,000 Hz [LP: MP3 64 kbps] 45 Hz ～ 7,500 Hz [SLP: MP3 32 kbps]
	内蔵マイク S/N 比	45 dB（PCM） フィルター（JIS A）

USB		USB2.0（Hi-Speed）
音声出力	インサイドホン端子	φ 3.5 mm, 16 Ω , 6 + 6 mW(JEITA)
	スピーカー出力	φ 20 mm, 8 Ω , 90 mW（JEITA）
音声入力	マイク / ライン端子	φ 3.5 mm, 1.26 mV, プラグインパワー対応

最大外形寸法	40.1 (W) mm × 112.7 (H) mm × 15.6 (D) mm
本体寸法	38.5 (W) mm × 112.7 (H) mm × 14.6 (D) mm
質量	約 50 g（乾電池を含む）/ 約 39 g（乾電池を含まず）
使用温度範囲	0 ℃～ 40 ℃
使用湿度範囲	20% RH ～ 80% RH（結露なきこと）

記録容量（メモリー容量）	2 GB※

※ 内蔵メモリーの使用可能領域は表示容量より少なくなります。

電池持続時間

（使用条件によっては短くなる場合があります。）

	音質	アルカリ乾電池※3
録音時※1	PCM 44.1 kHz（ステレオ）	約 29 時間 30 分
	XP 192 kbps　（ステレオ）	約 35 時間 30 分
	LP 64 kbps　　（ステレオ）	約 43 時間 30 分
	SLP 32 kbps　（モノラル）	約 47 時間 30 分

	音質	アルカリ乾電池※3
再生時※2	PCM 44.1 kHz（ステレオ）	約 12 時間 30 分
	XP 192 kbps　（ステレオ）	約 14 時間
	LP 64 kbps　　（ステレオ）	約 16 時間 30 分
	SLP 32 kbps　（モノラル）	約 17 時間

録音可能時間の目安

（使用条件によっては短くなる場合があります。）

音質	録音時間	ビットレート
PCM 44.1 kHz（ステレオ）	約 3 時間	1411 kbps
XP 192 kbps（ステレオ）	約 22 時間	192 kbps
LP 64 kbps　（ステレオ）	約 67 時間	64 kbps
SLP 32 kbps（モノラル）	約 134 時間	32 kbps

内蔵メモリー使用時

※1 録音モニターなし、録音ランプ OFF、内蔵メモリー使用時
※2 スピーカー再生：音量 11、再生速度 1 倍速（100%）
※3 パナソニック単４形アルカリ乾電池を使用

● この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Media および Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。
- IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Macintosh および Mac OS は米国 Apple Inc. の商標です。
- その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では ™、® マークは一部明記していません。

お手入れ

■本機が汚れたら

乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り､そのあと､乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学雑巾は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

■故障を防ぐために

- **ズボンの後ろポケットに入れて座らないでください。**
- **インサイドホン（市販）を本機に巻きつけたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えないでください。**
  本機の傷つきや破損につながります。
- **本機に、雨水や水滴などがかからないようにしてください。**
- **本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしないでください。**
  強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れたり、故障や誤動作の原因になります。

■SD カードの互換性

microSD カードと microSDHC カードはそれぞれのカードに対応した機器で使用できます。
（microSD カードは microSDHC カード対応機器でも使用できます。）非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。また、microSDHC カードに非対応のパソコンや機器の場合は、カードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。フォーマットを実行するとデータが消去されます。元に戻すことはできませんので、フォーマットしないでください。

■SD カードや本機を廃棄 / 譲渡するときのお願い

内蔵メモリーや SD カードのデータは、本機やパソコンで「消去」や「フォーマット」を行うと再生できなくなりますが、完全には消去されません。
セキュリティのため完全に消去したい場合は、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使うか、フォーマットしたあと、情報が残らないように録音残り時間がなくなるまで録音してください。

著作権について

放送や CD、MD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	⚠ 注意
「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

🛇 してはいけない内容です。	❗ 実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

❗ **異常があったときには、電池を取り出す**

- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **本体が破損した**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

●電源を切り、販売店にご相談ください。

⚠ 警告

電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕ と ⊖ を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕ と ⊖ を逆に入れない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ･発熱･発火･破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

●電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

単４形電池やメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

●万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

●機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。

●特にお子様にはご注意ください。

乗り物を運転中に操作しない

事故の原因になります。

安全上のご注意（続き）

⚠ 警告

乗り物を運転中や、周囲の音が聞こえないと危険な場所で、インサイドホンを使わない

事故の原因になります。
踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、特にご注意ください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

インサイドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

分解、改造をしない

機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

分解禁止

使い切った電池は、すぐに機器から取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60 ℃以上）になります。本機を絶対に放置しないでください。

火災の原因になることがあります。

●また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけない

スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。

●スピーカーは防磁設計ではありません。テレビ等の近くに置かないでください。

インサイドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。

●音量は少しずつ上げてご使用ください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

長期間使わないときは、電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

使いかた・お手入れ・修理などは
■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電　話（　　　　　）　　　－

お買い上げ日　　　　　年　　　月　　　日

修理を依頼されるときは

「こんな表示が出たら」、「故障かな !?」（P42 ～ 47）でご確認のあと、直らないときは、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

● 製品名	IC レコーダー
● 品　番	RR-XS350
● 故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間 : お買い上げ日から本体 1 年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 6 年

当社は、この IC レコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…………

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター

電話　365日 受付9時〜20時

フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-365**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「130＃」を押してください。（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30

(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は…………………………

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話

フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

・有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

■各地域の 修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区		
札 幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
旭 川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
帯 広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
函 館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗町589-241
首都圏地区		
栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
埼 玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
山 梨	☎(055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14

東北地区		
青 森	☎(0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
福 島	☎(024)991-9308	郡山市備前舘2丁目5
中部地区		
石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
静 岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421

近畿地区		
滋 賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
大 阪	☎(06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4

中国地区		
鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1

四国地区		
香 川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1

九州地区		
福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
熊 本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33

沖縄地区		
沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0512

さくいん

ご愛用者登録について

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/ 携帯

※このサービスは WEB 限定のサービスです。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- このマークがある場合は -

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

最新のサポート情報は、下記サポートサイトで
ご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/

〈無料修理規定〉

1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
  (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
  (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2.ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3.ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4.保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
  (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
  (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
  (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
  (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
  (ホ) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
  (ヘ) 本書のご添付がない場合
  (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
  (チ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5.本書は日本国内においてのみ有効です。
6.本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7.お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。
  (ご相談窓口一覧表を同梱の場合)
  お近くのご相談窓口は同梱別紙の一覧表をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
※This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

ICレコーダー保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

見本

品番	RR-XS350	
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間	
※お買い上げ日	年 月 日	
※お客様	ご住所	
	お名前 様	
	電話（ ） ー	
※販売店	住所・販売店名	
	電話（ ） ー	

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号 TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しください。